



福岡県など企画の教育映画

優秀作品賞を受賞

教育映像祭

携帯電話のメールによるいじめなどをテーマに、福岡県内を舞台に制作された教育映画「ひとみ輝くとき」の主演、トラブルを見てスターが、日本視聴覚教育協会（東京）主催の教育映像祭の優秀作品賞を受賞した。

映画は、メールでのいじめに悩む男子中学生が主人公。中傷メールの被害を受けて加害者に転じる生徒、トラブルを見て見ぬふりをする級友…。深刻な「負の連鎖」に気が付いた周囲の大人たちが手を差し伸べ、子どもたち

が自ら解決の道を探る。児童虐待の問題も取り上げている。

同県と県人権啓発情報センターが企画。二月



に福岡市と福岡県筑紫野市でロケをし、今春完成した。女優稲見子さん、ベテラン俳優久保明さんなどが出演している。

脚本・制作を担当した共和教育映画社（大阪市八頭司）社長（セ）は「いじめの構図を分かりやすく描いた。いじめに気が付いたら勇氣ある仲裁者になってほしい」と話している。

同県と県人権啓発情報センターが企画。二月

DVDとビデオの貸し出しは人権啓発情報センター（092-5841271、販売は同映画社）に問い合わせる。

5がそれぞれ受け付けられている。

06(6312)264